

知らなきゃ損する

歯

の は な し

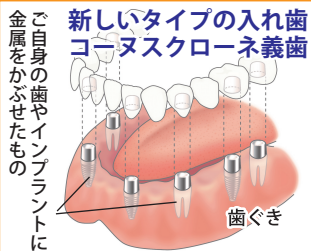


埼玉県羽生市 木村歯科医院 HPにてバックナンバー掲載中!!

154 インプラント専門医の勧めるコーヌスクローネ義歯 29

前回、心配ばかりして行動を起こせないという話をしました。

もう先がないから体にお金はかけないし、おいしいものも食べないし、良い服も着ない、旅行もしないのでしょうか？健康をその年齢なりに維持できれば、旅行にも行けるし、おいしい物も食べられるのではないのでしょうか？老後に不安があるから体にもできればお金をかけたくないと思いましたが、若い時に少し無理をしてでも働いてきたのは、老後を安心して過ご



せるようにするためではないでしょうか？

老後の大半を病院通いにしないためにも、歩いて咬める事を維持できる準備をした方が良くと思います。医科では、命を守るため基本最高の治療が保険で賄えますが、歯

科は、命に直接影響が低いと思われがちで、最高の治療を保険診療で賄えるとは思えません。それは保険診療の定義が最低限噛める事をうたっている、一部の詰め物やかぶせ物を除き、おいしく噛めるとか綺麗に治すは二の次とされてしまっています。

入れ歯ひとつをとっても、元の歯のように噛める状況にはなかなかないと思います。味わえないから唾が減り、結果として脳血流量も減ります。皆さん、「入れ歯とはこ

んなもんだ」と納得して慣れているだけなのです。しかし、自分の歯の様に噛み応えがあっておいしく噛める事が難しい中、歯を守って健康で長生きをしようという動きがやっとなってきました。予防と機能回復です。予防はだいぶ浸透してきましたが、機能回復はまだまだです。

平均寿命は延びても健康寿命が延びない理由の一つに、おいしく噛めない事があると感じています。おいしく物を食べられる人は生き生きしてい

ます。生きる力を感じます。インプラント治療が浸透してきた現在、人生百年時代に際してそのインプラントを長く使うための管理が、長期入院や施設に入所してしまうと訪問診療だけではなかなか難しい事が分かってきました。ドイツで開発されたコーヌスクローネ義歯は1980年代に日本に入ってきましたが、治療の難しさから廃れてしまいました。今、人生百年時代にやっとその価値を見直され、噛めて味わえ、管理がしやすい義歯

として良い治療成果を出しています。多くの歯を痛めてきた方は末永く「歩いて咬める事」を目指すために、管理のできるコーヌスクローネ義歯をお勧めしています。



院長の無料相談

木村匡司院長がお口の相談に応じます(要電話予約)。

歯の無料健康講座

次回は、7月13日(土)、8月10日(土) 15時30分から約60分

通話料無料 フリーダイヤル 0120-255-418